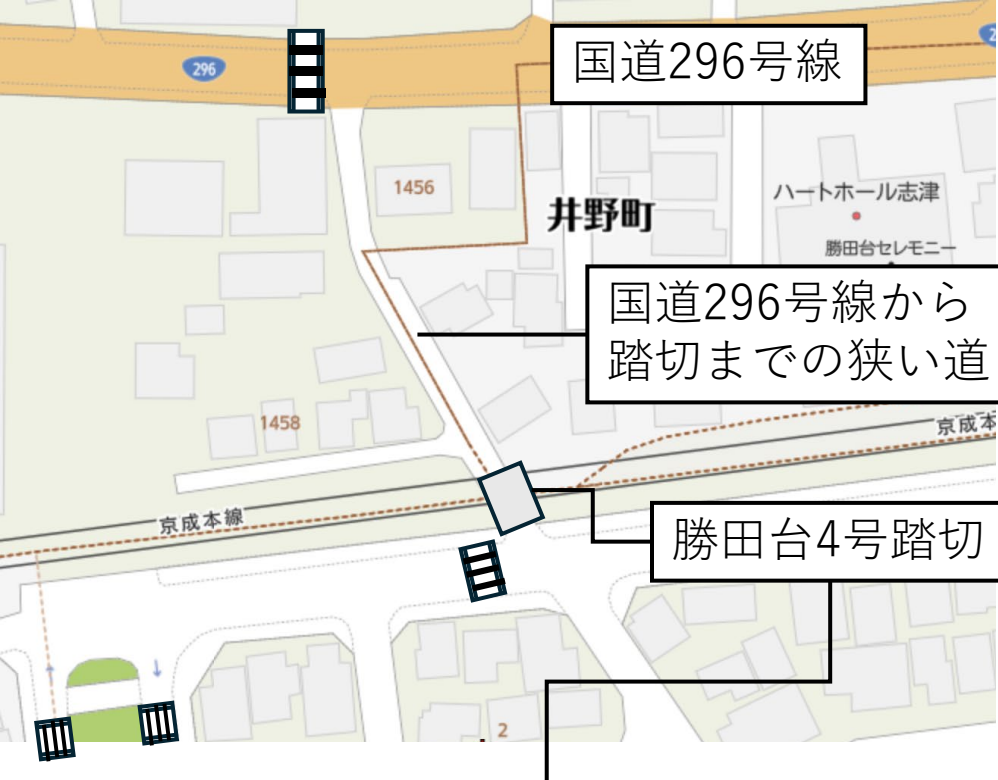


勝田台4号踏切付近図説

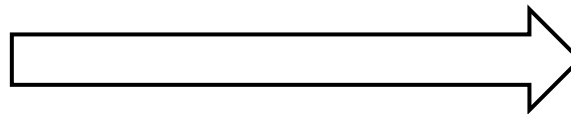


国道296号線から「狭い道」に入った直後の道路。車両一台が通るのがやっと。グリーンベルトも狭く、歩いて車とすれ違うことも危険な状況。道の約半分をしめるとりわけ狭い区間は、車がすれ違うことはできない。

この狭い道に車両の交通規制がないため、上り下りを急ぐ車両同士が毎朝お見合いになる。



踏切を車両が通過しているときは、同時に人が入ることができない。そのため、児童の通学時には天候にかかわらず常時4名のスクールガードが交通整理をしている。



車が行き過ぎるまで線路際で待つ小学生。この後、スクールガードの案内により、急いで踏切を渡る。その間、上り下りの車はスクールガードが停めている。